９日６日（金）評価

『正解のない問題集』の話です。

マイトは先生と仲良くしている。サクラは「テストの点数は私の方がいいのに、どうして、マイトと成績が同じなの？」と不満に思っている。先生と仲良くしているから、成績がいいのだと思っているのだ。

どうしても納得がいかないサクラは、放課後、先生に聞いてみた。「なんで、私とマイトの成績が一緒なんですか」と。

すると先生は、マイトは間違えていたとしても宿題をていねいにやってくること、分からないところは積極的に質問してくることを、サクラに話した。そして、その後に

「サクラとマイトのよさは違う。サクラのいいところだって、先生は分かっているつもりだぞ」

と言ってくれた。

どうですか？　この話のサクラみたいに考えたことはないですか。先生たちは、テストの点数や手を挙げた回数だけで子供たちを評価することはないのです。それだけは、知っていてもらいたいです。

村越　新